

ユーラシア研究会報告

2013年1月、「ユーラシア」とは何かを改めて考えるという大きな課題を掲げて、横浜ユーラシア文化館と横浜市歴史博物館の有志による研究会が発足した。2019年度は2回の研究会を開催した。以下にこれまでの発表題目と発表者および2019年度の発表要旨を掲載する。なお、研究会発足の詳細は本紀要第2号を、2018年度までの発表要旨については、第2号から第7号を参照されたい。

2012年度

第1回 2013年1月24日

東京大学総合研究博物館のいわゆる鳥居資料について……………高橋健（横浜市歴史博物館）
江上の内蒙古調査と収集資料……………畠山禎（横浜ユーラシア文化館）

第2回 2013年3月28日

「東部ユーラシア論をめぐって」……………平野卓治（横浜市歴史博物館）

2013年度

第3回 2013年5月31日

中央ユーラシアという歴史世界……………林俊雄（創価大学）

第4回 2013年7月26日

渤海考古学を巡る諸問題……………小嶋芳孝（金沢学院大学）

第5回 2013年10月24日

シンタシュタ文化における短剣の型式分類再考……………荒友里子（筑波大学大学院）

2014年度

第6回 2014年7月4日

墓誌史料より見たソグド人の東方移住と唐の成立……………石見清裕（早稲田大学）

第7回 2014年10月4日

稲作・畑作・焼畑：前近代日本農業の多様性—ラオスの焼畑文化から日本の古代文化を考える—
……………シャルロッテ・フォン・ヴェアシュア
（フランス国立高等研究院）

第8回 2015年2月6日

ユーラシア……………加藤九祚

2015年度

第9回 9月4日

動く石—西・南アジア地域圏の成立—……………近藤 英夫（東海大学）

第10回 10月16日

清盛と唐船……………シャルロット・フォン・ヴェアシュア
（フランス国立高等研究院）

2016年度

第11回 2016年8月18日

イラク、セレウキア出土中国鏡……………石渡美江

第12回 2017年3月17日

ユーラシア草原地帯東部の青銅器時代における「交流」……………松本圭太（九州大学大学院）

2017年度

第13回 2017年6月4日

重装騎馬戦術と仏像の東漸……………桃崎祐輔（福岡大学）

第14回 2017年11月24日

墓誌よりみたソグド人の東方活動……………福島恵（学習院大学）

第15回 2018年3月23日

ユーラシア世界と「唐物」—「唐物」と「国風文化」との関係—
……………皆川雅樹（産業能率大学）

2018年度

第16回 2018年10月26日

宋元代の海域アジア交流と沈船遺跡……………四日市康博（立教大学）

第17回 2019年2月15日

10-15世紀東ユーラシアにおける銭貨流通……………三宅俊彦（淑徳大学）

2019年度

第18回 2020年1月31日

ポスト・ポスト社会主義時代の日露考古学—石刃鏃文化再考—…福田正宏（東京大学）

第19回 2020年2月28日

南コーカサス新石器時代における土器の起源と乳利用—残存有機物分析の予備成果
……………下釜和也（古代オリエン特博物館）

*所属は研究会開催当時

横浜ユーラシア文化館 第8号

Bulletin of the Yokohama Museum of EurAsian Cultures No. 8

2020年3月31日発行

編集 横浜ユーラシア文化館

〒231-0021 横浜市中区日本大通12

Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453

www.eurasia.city.yokohama.jp/

発行 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団

印刷製本 朝日オフセット印刷株式会社

Edited by the Yokohama Museum of EurAsian Cultures

12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama, Japan

Published by the Yokohama Historical Foundation

Printed in Japan by Asahi Offset printing Co., Ltd.

©Yokohama Museum of EurAsian Cultures 2019

ISSN 2187-7734